



| | |
|------------------|---|
| Title | NII 総合目録データベースにおける著者名典拠ファイル形成過程 |
| Author(s) | 兔内, 勇津流; Tonai, Yuzuru |
| Citation | 大学図書館研究, 73, 1-14 |
| Issue Date | 2005-03 |
| Doc URL | https://hdl.handle.net/2115/596 |
| Type | journal article |
| File Information | Name_authority.pdf |



NII総合目録データベースにおける著者名典拠ファイルの形成過程

兎内 勇津流

抄録：NIIの総合目録においては、著者名典拠レコードの新規登録件数が低下傾向にあり、書誌レコード中の著者標目フィールドと著者名典拠とのリンク形成率もまた低下傾向にある。その一方、著者名典拠レコードの「歩留まり」¹⁾には向上が見られるが、これには新規レコード作成に与かる館の減少が関係している可能性がある。NIIの総合目録システムにおいては、参加館が多く登録書誌レコードが増えるほど目録負担が軽減され、それがさらに拡大を生むという循環の一方で、参加館の中に目録作成能力が十分でない館が増え、「歩留まり」の低下により、維持コストを引き上げる等の負の循環が生じるおそれがあり、それを踏まえた運営体制が要請される。

キーワード：NACSIS-CAT, 書誌ユーティリティー, 国立情報学研究所, 共同分担目録, 著者名典拠ファイル

1. はじめに

オンラインで参加機関と接続し、その目録作業をアシストすると同時に総合目録を形成して資源共有につなげる書誌ユーティリティーの活動は、参加機関による書誌レコード、典拠レコード、所蔵レコードの作成・登録という作業によって支えられている。

筆者は、2001年秋の図書館情報学会研究大会発表「NII総合目録の現状と課題」²⁾において、NII総合目録データベースの著者名典拠レコードファイルにおいて近年新規作成件数の低下が認められること、また、これと関連して図書ファイル中の書誌レコードにおいて典拠レコードとのリンク形成率が低下傾向にある可能性を指摘した。

本論文は、上記予想の妥当性を検証するとともに、これまでの典拠レコード形成過程を検証し、また、そこから推察されるNII総合目録システムに存在する一種のエコノミーについて述べる。

2. 図書ファイルにおけるリンク形成率の変動

NII総合目録データベースの図書ファイルにおける新規著者名典拠レコードの作成ペースは、近年低下傾向にある。

表1は、暦年毎の新規書誌レコードおよび新規著者名典拠レコードの作成件数を比較したものである。これを見ると、書誌レコード作成件数は総合目録のサービス開始以後1990年代末まではほぼ一貫して増加し続けた一方、著者名典拠レコード作成件数は1987年を最多とし、以後低下を続けていることがわかる。このため、新規作成著者名典拠レコードの新規作成書誌レコードに対する比率は、1987年の

表1 書誌レコードおよび著者名典拠レコード作成件数

| | 書誌レコード (A) | 著者名典拠 レコード (B) | B/A比 |
|-------|---------------|-------------------|-------|
| 1985年 | 8444 | 1400 | 16.6% |
| 1986年 | 67407 | 26933 | 40.0% |
| 1987年 | 213036 | 108340 | 50.9% |
| 1988年 | 272288 | 88944 | 32.7% |
| 1989年 | 267528 | 94476 | 35.3% |
| 1990年 | 328747 | 97028 | 29.5% |
| 1991年 | 342612 | 92641 | 27.0% |
| 1992年 | 361470 | 83918 | 23.2% |
| 1993年 | 390997 | 85100 | 21.8% |
| 1994年 | 395993 | 77653 | 19.6% |
| 1995年 | 440923 | 73651 | 16.7% |
| 1996年 | 455100 | 71078 | 15.6% |
| 1997年 | 521104 | 67703 | 13.0% |
| 1998年 | 534979 | 64085 | 12.0% |
| 1999年 | 549955 | 46124 | 8.4% |
| 2000年 | 520501 | 50179 | 9.6% |
| 2001年 | 508223 | 44424 | 8.7% |
| 2002年 | 528433 | 48076 | 9.1% |
| 2003年 | 484601 | 45288 | 9.3% |

著者名典拠の作成件数は、1999年以前の分は次の文献による。太刀川祐子、松井幸子“NACSIS-CATの著者名典拠ファイルの解析”『典拠情報と典拠コントロールの現状』東京、国立情報学研究所、2001、p.67。それ以外の作成件数は、2004年5月現在の登録レコードのIDの値の範囲により筆者が推定した。

表2 図書書誌レコード中ALフィールドのリンク形成率（作成年代・言語別）

| | 作成日 | サンプルレコード数 | リンク形成率（2002.4） | リンク形成率（2003.9） |
|--------|------------|-----------|--------------------|---------------------|
| 日本語資料 | 1992.04.15 | 732 | 718 / 908 = 79.1 % | |
| | 1997.04.21 | 398 | 352 / 494 = 71.3 % | 359 / 497 = 72.2 % |
| | 2002.01.18 | 271 | 223 / 341 = 65.4 % | 227 / 342 = 66.4 % |
| 英語資料 | 1992.04.15 | 495 | 534 / 709 = 75.3 % | |
| | 1997.04.21 | 229 | 225 / 362 = 62.2 % | 226 / 362 = 62.4 % |
| | 2002.01.18 | 276 | 230 / 402 = 57.2 % | 239 / 402 = 59.5 % |
| 中国語資料 | 1992.04.15 | 83 | 47 / 109 = 43.1 % | |
| | 1997.04.21 | 18 | 16 / 34 = 47.1 % | 23 / 34 = 67.6 % |
| | 2002.01.18 | 73 | 51 / 121 = 42.1 % | 52 / 121 = 43.0 % |
| その他の資料 | 1992.04.15 | 325 | 331 / 393 = 84.2 % | |
| | 1997.04.21 | 215 | 219 / 313 = 70.0 % | 220 / 314 = 70.1 % |
| | 2002.01.18 | 303 | 189 / 412 = 45.9 % | 197 / 412 = 47.8 % |
| 合計 | 1992.04.15 | 1265 | 1283/1657 = 77.4 % | |
| | 1997.04.21 | 860 | 812/ 1203 = 67.5 % | 828 / 1207 = 68.6 % |
| | 2002.01.18 | 923 | 693/ 1276 = 54.3 % | 715 / 1277 = 56.0 % |

※1992年の時点では、和図書ファイルと洋図書ファイルが別個に編成されていた。それぞれの新規レコード作成ペースが異なるため、1992年の合計欄には、それを考慮して補正した数値を記した。

すなわち、当日の和図書ファイルおよび洋図書ファイルのレコード作成件数はそれぞれ560件および1026件であったので、和図書ファイルに含まれる日本語および中国語資料については、それぞれを560/1026倍した。注4）を参照。

50.9%を最高に、1990年代を通じて低下を続け、1999年以後は書誌レコードの10分の1以下になった³⁾。この状況において、書誌レコードの著者標目フィールドのリンク形成率はどのように推移しているであろうか。

著者標目であるALフィールドのリンク率は、システム的にリンクが強制であった1987年10月までは100%なので、それ以後の傾向を調べるため、NIIの図書書誌ファイルから1992年4月、1997年4月および2002年1月に新規作成された書誌レコードの一部をサンプルとして抽出し、日本語資料、英語資料、中国語資料およびそれ以外の言語の資料に分けた上で、それぞれのALフィールドのリンク形成率を調査した（表2）⁴⁾。

その結果、2002年4月時点において、十分なサンプル数が得られなかった中国語資料以外のすべてのグループにおいて、作成時期の新しい書誌レコードほどALフィールドのリンク形成率は低くなるという結果が得られた。すなわち、和資料については、1992年作成書誌レコードではALフィールドの80%近くが著者名典拠レコードとリンクされているが、2002年1月作成の書誌レコードでは65%程度である。英語資料については、1992年の約75%が2002年では57%となる。日本語・英語・中国語以外の資料（すなわち、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語等の資料）では低下傾向はさらに顕著

である。すなわち1992年作成の書誌レコードにおけるリンク形成率は84%だったものが、1997年作成書誌レコードでは70%に低下し、さらに2002年作成レコードでは4割台に落ち込んでいるのである。

2002年4月時点での結果は以上のようなものであるが、ここから直ちに、リンク形成率の低下を導くことはできない。何故なら、1992年あるいは1997年に作成された書誌レコードについて、作成された時点ではリンク形成率は高いものでなかったが、その後、登録から年月を経る間に修正を加えられて向上した、という可能性があるからである。しかし現時点において、サンプルとしたレコードの登録後一定時点での姿を調べることは困難であるので、リンク形成率の向上幅を推定するための追跡調査を、最初の調査から1年5ヶ月が経過した2003年9月に行った⁵⁾。

その結果、作成されてまもない2002年作成書誌レコードについては1年5ヶ月間で1.0～2.3%の向上が見られ、作成から5年を経た1997年作成書誌レコードについても0.1～1%の向上が見られた。

書誌レコードを修正する機会は、参加館が所蔵登録を行う時が大多数と思われる。また、新刊資料の場合、所蔵登録は書誌レコードの新規登録後1-2年の間に集中することが経験的に知られている。従って、書誌レコードの修正も、レコード登録後1-2年の間に行われることが多く、その後は年月の経

過とともにレコードの修正される頻度は小さくなるものと推定するのが妥当であろう。すなわち、2002年4月から2003年9月の間に2%のリンク形成率向上が見られたとしても、その後の向上ペースはおそらく低下するのであり、5年で5%に届くことは困難であろう。とすると1997年および1992年に作成された書誌レコードについては、リンク形成率向上の程度はさらに小さいと予想される。

以上のことを考え合わせると、表2の区分で和資料、英語資料および「その他の資料」について、全体的にALフィールドのリンク形成率低下が進みつつあると判断される⁶⁾。

低下のペースは、和資料および英語資料については1992-1997年の方が1997-2002年の間よりも顕著であり、1997-2002年の低下の幅はそう大きなものではない。一方、「その他の資料」については最近の5年間の方が低下の幅が大きく、急速に落ち込んでいる。

3. 「歩留まり」の推移と典拠レコード作成館

著者名典拠ファイルに登録されたレコードは、その全てが維持されるわけではなく、重複等の理由により削除されることがある。総合目録に新規登録された典拠レコードは、その後ある程度の時間が経過するうちに、レコード調整の過程を経ることにより、不適格なレコードは次第に淘汰され、然るべき状態に近づいていくと考えられる(これは書誌レコードについても同様である)。こうして一定時間経過後に著者名典拠ファイルに登録され続けているレコードの割合を、ここでは「歩留まり」と呼ぶことにしたい⁷⁾。

表3は、著者名典拠ファイル中のレコードを、NCID順に前方一致検索した結果である。たとえば、DA000で始まるIDを持った典拠レコードが調査時点で2577個存在した。それぞれのグループについて、本来はそれぞれ10,000件、あるいは100,000件のレコードが作成された筈であり、総合目録システム発足当初の10,000件について言えば、その歩留まりは25.8%ということになる。

この表を見ると、最初期の3万件ほどまでの歩留まりが異様に低く、その後多少の出入りはあるものの、次第に歩留まりは高くなっていったことがわかる。すなわち、1986年末以降の歩留まりは、おおむね80%台~90%台前半を推移したが、長期的にはゆるやかな上昇傾向を示した。1990年以降はおおむね90%以上を維持し、スペースの関係から詳しい表をお見せできないが、2001年以降は95%以上となっている。

表3 著者名典拠レコードの歩留まり (2003年8月2日調べ)

| NCID | 最終作成日 | 残存数 | 歩留まり |
|-------------------|------------|-------|-------|
| DA000 | 1986.03.26 | 2577 | 25.8% |
| DA001 | 1986.07.03 | 3248 | 32.5% |
| DA002 | 1986.09.19 | 3796 | 38.0% |
| DA003 | 1986.11.05 | 6964 | 69.6% |
| DA004 | 1986.12.10 | 8180 | 81.8% |
| DA005 | 1987.01.21 | 8388 | 83.9% |
| DA006 | 1987.02.19 | 8583 | 85.8% |
| DA007 | 1987.03.18 | 8648 | 86.5% |
| DA008 | 1987.04.23 | 8368 | 83.7% |
| DA009 | 1987.06.02 | 8090 | 80.9% |
| DA010 | 1987.06.30 | 8733 | 87.3% |
| DA011 | 1987.07.25 | 8553 | 85.5% |
| DA012 | 1987.08.19 | 8659 | 86.6% |
| DA013 | 1987.09.09 | 8655 | 86.6% |
| DA014 | 1987.10.02 | 8734 | 87.3% |
| DA015 | 1987.10.22 | 8742 | 87.4% |
| DA016 | 1987.11.13 | 8640 | 86.4% |
| DA017 | 1987.12.21 | 8146 | 81.5% |
| DA018 | 1988.02.08 | 8848 | 88.5% |
| DA019 | 1988.03.15 | 8714 | 87.1% |
| 以上, 1万件毎。以下10万件毎。 | | | |
| DA00 | 1987.06.02 | 66842 | 66.8% |
| DA01 | 1988.03.15 | 86474 | 86.5% |
| DA02 | 1989.03.07 | 89251 | 89.3% |
| DA03 | 1990.02.23 | 90570 | 90.6% |
| DA04 | 1991.01.23 | 90344 | 90.3% |
| DA05 | 1992.01.20 | 90861 | 90.9% |
| DA06 | 1993.02.15 | 90439 | 90.4% |
| DA07 | 1994.02.28 | 89799 | 89.8% |
| DA08 | 1995.05.12 | 90181 | 90.2% |
| DA09 | 1996.08.08 | 91323 | 91.3% |
| DA10 | 1997.11.26 | 92216 | 92.2% |
| DA11 | 1999.05.11 | 92526 | 92.5% |
| DA12 | 2001.03.23 | 93931 | 93.9% |
| DA13 | 2003.06.03 | 97115 | 97.1% |

これについて、総合目録システム稼働の当初はALフィールドの著者名典拠レコードとのリンクが必須であったが、1987年11月にオプション化された⁸⁾という背景、および表1に示した新規レコード作成件数の推移を考えると、次のようなことが言えよう。すなわち、当初は、典拠の作成・リンクが義務なので参加館は書誌レコードの作成上必要な限り全件を作成していたが、その中には不適当なレコードが相当含まれていた。しかし次第にシステム運用に習熟し歩留まりが向上し、作成のピークを迎えたのが、リンク形成がオプション化される直前のことである。その後、書誌レコードの新規作成件数は1990年代末まで増加を続け、1987年の年間21万件

表4 新規登録著者名典拠レコードにおける上位10機関, 20機関の占有率

| | 1986年 | 1988年 | 1990年 | 1992年 | 1994年 | 1996年 | 1998年 | 2000年 | 2002年 |
|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| サンプル数 | 631 | 870 | 891 | 885 | 893 | 931 | 925 | 955 | 976 |
| 作成参加館数 | 38 | 64 | 91 | 105 | 127 | 134 | 138 | 133 | 129 |
| 作成機関数 | 17 | 31 | 60 | 74 | 95 | 96 | 109 | 97 | 93 |
| 国立大学作成件数 | 624 | 826 | 554 | 557 | 543 | 586 | 438 | 519 | 584 |
| 国立大学作成比率 | 98.9% | 94.9% | 62.2% | 62.9% | 60.8% | 62.9% | 47.4% | 54.3% | 59.8% |
| 公立大学作成件数 | 0 | 1 | 0 | 3 | 31 | 12 | 14 | 6 | 12 |
| 公立大学作成比率 | 0.0% | 0.1% | 0.0% | 0.3% | 3.5% | 1.3% | 1.5% | 0.6% | 1.2% |
| 私立大学作成件数 | 2 | 43 | 275 | 316 | 276 | 279 | 430 | 363 | 324 |
| 私立大学作成比率 | 0.3% | 4.9% | 30.9% | 35.7% | 30.9% | 30.0% | 46.5% | 38.0% | 33.2% |
| その他の機関の作成件数 | 1 | 0 | 62 | 9 | 43 | 54 | 43 | 67 | 56 |
| その他の機関の作成比率 | 0.2% | 0.0% | 7.0% | 1.0% | 4.8% | 5.8% | 4.6% | 7.0% | 5.7% |
| 上位10機関小計 | 609 | 702 | 516 | 548 | 460 | 518 | 484 | 491 | 621 |
| 上位10機関占有率 | 96.5% | 80.7% | 57.9% | 61.9% | 51.5% | 55.6% | 52.3% | 51.4% | 63.6% |
| 上位20機関小計 | 631 | 837 | 691 | 693 | 628 | 670 | 662 | 685 | 754 |
| 上位20機関占有率 | 100.0% | 96.2% | 77.6% | 78.3% | 70.3% | 72.0% | 71.6% | 71.7% | 77.3% |

※ここでいう参加館数は、NIIに登録された固有ID(いわゆるFA番号)を持つ組織の数である。NIIの総合目録においては、同じ大学であっても部局ごとに別個の参加組織として登録されている場合がある。ここでいう「機関」は、固有IDによらず、大学レベルで参加館をカウントし直したものである。

※大学には短期大学を含む。ただし外国の大学は、「その他の機関」に含めた。

※1986年については、作成館不明のレコードが4件あるため、各項目の合計はサンプル数と一致しない。

が1997年以降2002年までは50万件を超えた。しかし、著者名典拠レコードの新規作成件数は1987年に10万8千件余が作成されたのをピークに、以後一度も10万件に達することなく、1990年代には一貫して減少し続け、ここ数年は年間4～5万件程度に落ち込んでいる。こうした状況において著者名典拠レコードの歩留まりが向上しているのは、作成・リンクが任意であるため、これを行うのにある程度自信を持てる参加館ないしはカタログャーに限られていったことによる品質向上の結果とみることができらるだろう。

こうした現象の背景にアプローチするため、筆者は、著者名典拠ファイルに登録されたレコードから、1986年以後2002年までほぼ2年ごとに作成された⁹⁾600～1000件程度のサンプルを採取し、その作成館等について分析を試みた。その集計結果を表4および表5に示す。

この調査結果から、次のようなことを指摘できる。(1) 現在では1000を超える総合目録の参加館中、著者名典拠レコードの作成に従事する館は、そのごく一部である。たとえば2002年のサンプル976件について言えば、作成館は全体で129館(部局別に参

加登録してあるものを大学単位でまとめると93機関)あり、残りの参加館の大多数は著者名典拠レコードを作成することが稀もしくは作成することがないと考えられる。

(2) 作成館の数は1998年までは増加が見られたが、その後ゆるやかながら減少傾向が認められる。

(3) 上位10機関の作成成分が占める割合は、サービス開始まもない1986年および1988年を別にすると51%～64%で推移している。上位20機関では70～78%の占有率となる。

(4) 作成館の種類で見ると、サービス開始当初は国立大学でほとんど全量を占めるが、1990年以降については1998年を除き、国立大学が60%前後、私立大学が30～40%である。

(5) 典拠レコードの作成量は、参加館の蔵書量、受入資料の量、書誌レコードの登録数と必ずしも比例しない。

(6) 時期によって各々の参加館の作成量の変動が激しく、コンスタントなペースを維持している館が少ない。

(7) (6)と関連するが、ある時期に典拠レコード作成に貢献の大きかった参加館が、以後ほとんど新

表5 参加館毎の著者名典拠作成件数 (サンプル調査)

| 参加館ID | 参加館名称 | 1986年 | 1988年 | 1990年 | 1992年 | 1994年 | 1996年 | 1998年 | 2000年 | 2002年 |
|----------|------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| FA002531 | 愛知教育大学附属図書館 | | 4 | | 5 | 2 | | | | 1 |
| FA001528 | 秋田大学附属図書館 | | | | | | 1 | | | |
| FA001539 | 秋田大学附属図書館医学部分館 | | | 3 | | | | | | |
| FA014020 | 石川工業高等専門学校図書館 | | | | | | | | 5 | |
| FA001608 | 茨城大学附属図書館 | 1 | 1 | 1 | | | | | | |
| FA001619 | 茨城大学附属図書館工学部分館 | | 2 | | 1 | | | | | |
| FA001368 | 岩手大学附属図書館 | | | 19 | 5 | 4 | | 3 | 1 | |
| FA001685 | 宇都宮大学附属図書館 | | | 4 | 2 | 5 | | 1 | 1 | |
| FA001696 | 宇都宮大学附属図書館工学部分館 | | | 2 | | | | | | |
| FA003374 | 愛媛大学附属図書館 | | | 2 | 3 | | | | 6 | |
| FA003385 | 愛媛大学附属図書館医学部分館 | | | 2 | 3 | 1 | | | | |
| FA003578 | 大分大学附属図書館 | | | 2 | 2 | 3 | | 1 | | |
| FA002928 | 大阪外国語大学附属図書館 | | | | | | 1 | 18 | 18 | 9 |
| FA002939 | 大阪教育大学附属図書館 | | | | | 3 | 2 | 5 | 11 | 4 |
| FA002848 | 大阪大学附属図書館 | 5 | 78 | 30 | 27 | 10 | 3 | 14 | 7 | 1 |
| FA002859 | 大阪大学附属図書館生命科学分館 | | | 11 | | 10 | | 4 | | |
| FA002870 | 大阪大学附属図書館吹田分館 | | | 7 | 18 | | | | | 3 |
| FA003170 | 岡山大学附属図書館 | | 29 | 10 | 2 | 4 | 15 | 7 | 2 | |
| FA003181 | 岡山大学附属図書館鹿田分館 | | | 5 | | 1 | 1 | | | 1 |
| FA003192 | 岡山大学附属図書館資源生物科学研究所分館 | | | | | | 1 | | | |
| FA001302 | 小樽商科大学附属図書館 | | | | | | 2 | | 7 | 1 |
| FA001980 | お茶の水女子大学附属図書館 | | | | | 3 | | 1 | | |
| FA003363 | 香川医科大学附属図書館 | | | | | | 1 | | | |
| FA003352 | 香川大学附属図書館 | | | 3 | | | | | | 1 |
| FA003647 | 鹿児島大学附属図書館 | | | 1 | 18 | | 1 | 1 | | |
| FA002145 | 金沢大学附属図書館 | | | 30 | 14 | 5 | 14 | 2 | 5 | 8 |
| FA002203 | 金沢大学附属図書館医学部分館 | | | | | | | 1 | 1 | 10 |
| FA003680 | 鹿屋体育大学附属図書館 | | | | | | | | 1 | |
| FA001335 | 北見工業大学附属図書館 | | | | | | 2 | | | |
| FA002349 | 岐阜大学附属図書館 | | | | | | | | 1 | |
| FA003476 | 九州芸術工科大学附属図書館 | | | | | 1 | | | | |
| FA003454 | 九州大学附属図書館 | | 1 | 24 | 18 | 64 | 3 | 10 | 32 | 9 |
| FA003465 | 九州大学附属図書館医学分館 | | | | | 32 | | | 2 | |
| FA015282 | 九州大学附属図書館六本松分館 | | | | | | 3 | 6 | 7 | 11 |
| FA002826 | 京都教育大学附属図書館 | | | 4 | 13 | | | 1 | 1 | |
| FA002837 | 京都工芸繊維大学附属図書館 | 5 | 5 | 10 | 7 | 54 | 4 | 3 | | |
| FA002611 | 京都大学附属図書館 | 60 | 12 | 21 | 39 | 25 | 34 | 1 | 3 | 32 |
| FA002622 | 京都大学人間・環境学研究科総合人間学部図書館 | 2 | 5 | | 8 | 22 | 6 | 51 | 18 | 20 |
| FA002633 | 京都大学文学部図書室 | | 8 | | 9 | 6 | 50 | 10 | 57 | 72 |
| FA002644 | 京都大学教育学部図書室 | 18 | | | 17 | 3 | | 0 | 5 | 3 |
| FA002655 | 京都大学法学部図書室 | 5 | 10 | 2 | | 5 | | 1 | 5 | |
| FA002666 | 京都大学経済学部図書室 | | | | 1 | 2 | 3 | | | 1 |
| FA002677 | 京都大学理学部 | 8 | 11 | | | | | 0 | | 1 |
| FA002688 | 京都大学医学図書館 | | | | 1 | 4 | | | 1 | |
| FA002699 | 京都大学大学院薬学研究科・薬学部図書室 | | | | | 2 | | | | |
| FA002702 | 京都大学工学部 | 7 | 6 | | | 1 | 3 | 0 | | |
| FA002713 | 京都大学附属図書館宇治分館 | | | | | 2 | | | | |
| FA002724 | 京都大学農学部図書室 | 4 | 15 | 7 | | | | 0 | | 4 |
| FA002735 | 京都大学人文科学研究所図書室 | | | | 10 | 5 | 2 | | 3 | |
| FA002757 | 京都大学基礎物理学研究所図書室 | | | | | | | | 4 | |
| FA002768 | 京都大学数理解析研究所図書室 | | | 4 | | 3 | 1 | | | |
| FA002804 | 京都大学東南アジア研究センター図書室 | | 2 | | | | | | | |
| FA002815 | 京都大学学術情報メディアセンター | 3 | 9 | | | | | 0 | | |
| FA003545 | 熊本大学附属図書館 | 7 | 15 | 13 | 1 | | | 0 | 6 | |
| FA003556 | 熊本大学附属図書館医学部分館 | 1 | 13 | | 1 | 2 | | 0 | | |
| FA001710 | 群馬大学附属図書館 | 1 | 2 | | | | 8 | 2 | | |
| FA001721 | 群馬大学附属図書館医学分館 | | 3 | | 3 | 3 | | | | |
| FA001732 | 群馬大学附属図書館工学部分館 | | 2 | 2 | 1 | | | | | |
| FA003410 | 高知大学附属図書館 | | | | 1 | 2 | 2 | 1 | | |
| FA003068 | 神戸商船大学附属図書館 | | | | | | | 1 | | |

NII総合目録データベースにおける著者名典拠ファイルの形成過程

| 参加館ID | 参加館名称 | 1986年 | 1988年 | 1990年 | 1992年 | 1994年 | 1996年 | 1998年 | 2000年 | 2002年 |
|----------|---------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| FA002983 | 神戸大学附属図書館医学部分館名谷分室 | | | | | | | | 1 | |
| FA002994 | 神戸大学附属図書館人文社会科学系図書館 | | | 33 | | 12 | 70 | 16 | 15 | 23 |
| FA003002 | 神戸大学附属図書館国際・教養系図書室 | | | 1 | 1 | 5 | | | 5 | 12 |
| FA003013 | 神戸大学附属図書館人文科学系図書室 | | | 2 | | | | | | |
| FA003024 | 神戸大学附属図書館人間科学系図書室 | | | 1 | 2 | | 5 | 2 | 2 | |
| FA003035 | 神戸大学附属図書館自然科学系図書館 | | | | 1 | | 4 | 2 | 9 | 1 |
| FA003046 | 神戸大学附属図書館医学部分館 | | | | | | 7 | | | |
| FA003057 | 神戸大学経済経営研究所附属政策研究リエゾンセンター | | | 11 | 5 | 7 | | | | 13 |
| FA001743 | 埼玉大学附属図書館 | 4 | 58 | 14 | | 2 | 5 | 3 | 6 | 5 |
| FA003501 | 佐賀医科大学附属図書館 | | | | | 2 | | | | |
| FA003498 | 佐賀大学附属図書館 | | | 5 | | | | | | |
| FA002600 | 滋賀医科大学附属図書館 | 1 | 67 | | | | | 0 | | |
| FA002586 | 滋賀大学附属図書館教育学部分館 | | | 1 | | 5 | 3 | | 2 | |
| FA002597 | 滋賀大学附属図書館 | | | | | | | 7 | | |
| FA002371 | 静岡大学附属図書館 | | 6 | | | | | | 1 | 2 |
| FA002382 | 静岡大学附属図書館浜松分館 | | | | | | | | | 5 |
| FA003159 | 島根医科大学附属図書館 | | | 7 | | | | | | |
| FA002112 | 上越教育大学附属図書館 | | | | 6 | | | 1 | | 6 |
| FA002280 | 信州大学附属図書館 | | | | 5 | 2 | | | 1 | |
| FA002291 | 信州大学附属図書館教育学部分館 | | | | | 1 | | | | |
| FA002316 | 信州大学附属図書館工学部分館 | | | | | | | 3 | | |
| FA001754 | 千葉大学附属図書館 | | | 6 | | | 8 | | 3 | 5 |
| FA001776 | 千葉大学附属図書館園芸学部分館 | | | | 1 | | | | | |
| FA014563 | 筑波技術短期大学視覚部図書館 | | | | | | 5 | | | 1 |
| FA001641 | 筑波大学附属図書館図書館情報学図書館 | | | | | 4 | 1 | | | |
| FA001652 | 筑波大学附属図書館中央図書館 | | | 13 | 3 | 2 | 7 | | 28 | 10 |
| FA001991 | 電気通信大学附属図書館 | | | 12 | 1 | | | | | |
| FA001878 | 東京外国語大学附属図書館 | | | | | | 2 | | | 5 |
| FA001889 | 東京学芸大学附属図書館 | 2 | | 4 | | | | 14 | 3 | 14 |
| FA001925 | 東京芸術大学附属図書館 | | | | 4 | 23 | 65 | 3 | 18 | 23 |
| FA000106 | 東京工業大学附属図書館 | 98 | 0 | 7 | 5 | 14 | | 1 | | |
| FA000117 | 東京工業大学附属図書館すずかけ台分館 | 14 | 0 | | | 3 | | 0 | | |
| FA001969 | 東京水産大学附属図書館 | | | | | | 4 | | | |
| FA001787 | 東京大学総合図書館 | 148 | 28 | 4 | 22 | 7 | 13 | 10 | 2 | 4 |
| FA001798 | 東京大学駒場図書館 | 2 | 28 | | | 4 | 2 | 2 | 3 | |
| FA001823 | 東京大学医学図書館 | 2 | 10 | 2 | 1 | 2 | | 3 | | |
| FA001845 | 東京大学農学生命科学図書館 | | 12 | 9 | 8 | 9 | 14 | 5 | 21 | 6 |
| FA011747 | 東京大学法学部 | | | 19 | 9 | | | 14 | 2 | 12 |
| FA011758 | 東京大学人文社会系研究科・文学部図書室 | | 3 | 35 | 24 | 14 | 10 | 8 | 2 | 16 |
| FA011769 | 東京大学経済学部図書館 | 2 | 10 | 2 | 12 | 6 | 1 | 11 | 8 | 7 |
| FA011780 | 東京大学理学部 | 11 | 19 | 14 | | 1 | 2 | 4 | | |
| FA011791 | 東京大学工学部・工学系研究科 | 2 | | | 6 | 6 | 5 | 6 | 3 | 1 |
| FA011849 | 東京大学社会科学研究所 | 5 | 40 | | 6 | | 2 | 1 | 3 | 1 |
| FA011951 | 東京大学地震研究所図書室 | | | | 1 | | | | | |
| FA011962 | 東京大学東洋文化研究所図書室 | | | | | 1 | 8 | | 6 | 8 |
| FA011973 | 東京大学社会情報研究所 | | | 1 | | | 1 | 1 | 1 | 1 |
| FA011984 | 東京大学史料編纂所図書室 | | | | | 11 | | 1 | 5 | |
| FA012080 | 東京大学物性研究所図書室 | | | | | | | 7 | | |
| FA013990 | 東京大学数理科学研究科 | | | | | | | | | 14 |
| FA01177X | 東京大学大学院教育学研究科・教育学部図書室 | | 8 | | 3 | | 1 | | | 10 |
| FA01185X | 東京大学生産技術研究所図書室 | 3 | 1 | | | | | 0 | | |
| FA01207X | 東京大学?現在登録なし | | | | | | 6 | | | |
| FA001914 | 東京農工大学附属図書館小金井分館 | | | | | | | 1 | | |
| FA001379 | 東北大学附属図書館 | 19 | 47 | 7 | 31 | 23 | 14 | 9 | 7 | 2 |
| FA001390 | 東北大学附属図書館北青葉山分館 | | 4 | 2 | 6 | | 8 | | | |
| FA001404 | 東北大学附属図書館医学分館 | | | 1 | | | 1 | | 6 | |
| FA001415 | 東北大学附属図書館工学分館 | | 9 | 7 | 8 | | 6 | 4 | 2 | 2 |
| FA001426 | 東北大学附属図書館農学分館 | | | 3 | | 1 | | | | |
| FA001437 | 東北大学金属材料研究所 | | | | 1 | | | | | |
| FA003126 | 鳥取大学附属図書館 | | | | 1 | 4 | | | 1 | |
| FA002134 | 富山医科薬科大学附属図書館 | | 1 | 4 | | | | | | |
| FA002123 | 富山大学附属図書館 | 3 | 56 | 8 | 10 | | | | | |

大学図書館研究 LXXIII (2005.3)

| 参加館ID | 参加館名称 | 1986年 | 1988年 | 1990年 | 1992年 | 1994年 | 1996年 | 1998年 | 2000年 | 2002年 |
|----------|---------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| FA002553 | 豊橋技術科学大学附属図書館 | | | | | 3 | | | 2 | |
| FA003512 | 長崎大学附属図書館 | | | | | | | | 3 | |
| FA002542 | 名古屋工業大学附属図書館 | 2 | 7 | 1 | | | | 3 | 3 | |
| FA002407 | 名古屋大学附属図書館 | 169 | 1 | 2 | 28 | 13 | 2 | 31 | 17 | 8 |
| FA002418 | 名古屋大学附属図書館医学部分館 | | | | | | 2 | | | 4 |
| FA002429 | 名古屋大学情報・言語合同図書室 | 6 | 20 | | 4 | | 3 | 1 | 1 | 4 |
| FA002440 | 名古屋大学文学部図書室 | | 9 | | | | | | | 1 |
| FA002451 | 名古屋大学教育学部図書室 | | 15 | | | | | | | |
| FA002473 | 名古屋大学経済学部図書室 | | 5 | | 8 | | | | | 2 |
| FA002484 | 名古屋大学理学部図書室 | | | | | | | 3 | | |
| FA002495 | 名古屋大学工学部図書室 | 1 | | | 1 | | | 4 | | |
| FA016434 | 名古屋大学大学院国際開発研究科 | | | | | | | | 4 | 1 |
| FA016478 | 名古屋大学大学院多元数理科学研究科 | | | | | | | 1 | | |
| FA003079 | 奈良教育大学附属図書館 | | | 6 | 2 | 5 | | | | |
| FA003090 | 奈良女子大学附属図書館 | | 8 | 14 | 12 | 11 | | 1 | | 1 |
| FA003341 | 鳴門教育大学附属図書館 | | | 11 | 3 | 1 | | | 1 | |
| FA002087 | 新潟大学附属図書館 | | 5 | 16 | 6 | 1 | | 1 | | |
| FA002098 | 新潟大学附属図書館旭町分館 | | 2 | 5 | | | | | 3 | 1 |
| FA002393 | 浜松医科大学附属図書館 | | | 2 | 1 | | | | | |
| FA002010 | 一橋大学附属図書館 | | | | 24 | 15 | 34 | 33 | 10 | 6 |
| FA002043 | 一橋大学経済研究所資料室 | | | | | 3 | 1 | 36 | 25 | 7 |
| FA002054 | 一橋大学経済研究所附属社会科学統計情報研究センター | | | | | | | | 4 | 5 |
| FA019578 | 一橋大学大学院国際企業戦略研究科 | | | | | | | | | 1 |
| FA002972 | 兵庫教育大学附属図書館 | | 6 | | | | | | 2 | |
| FA001346 | 弘前大学附属図書館 | | | 2 | 4 | 1 | 6 | 4 | | 5 |
| FA001357 | 弘前大学附属図書館医学部分館 | | | | | | 2 | | | |
| FA003217 | 広島大学附属図書館 | | 46 | 8 | 14 | | | | | |
| FA012284 | 広島大学附属図書館中央図書館 | | | | | | | 3 | 1 | |
| FA014508 | 広島大学附属図書館西図書館 | | | | | 2 | | 2 | | |
| FA002247 | 福井医科大学附属図書館 | | | | | | | | 1 | |
| FA002236 | 福井大学附属図書館 | | | | | | | | 2 | |
| FA003443 | 福岡教育大学附属図書館 | | | | | | | 1 | 3 | |
| FA001594 | 福島大学附属図書館 | | | | 1 | | | | 2 | |
| FA014009 | 北陸先端科学技術大学院大学附属図書館 | | | | | | 5 | | | |
| FA001244 | 北海道教育大学附属図書館 | | 5 | | 3 | | | | | |
| FA001007 | 北海道大学附属図書館 | 1 | 7 | 14 | 14 | 5 | 35 | 19 | 34 | 113 |
| FA001018 | 北海道大学附属図書館北分館 | 1 | 9 | | | | | | 1 | 9 |
| FA001029 | 北海道大学文学研究科・文学部図書室 | | 18 | | 1 | 7 | 4 | | | |
| FA001051 | 北海道大学経済学研究科・経済学部図書室 | | 2 | | | | | | | |
| FA001109 | 北海道大学大学院工学研究科・工学部図書室 | | | 1 | | | | | 1 | 7 |
| FA001120 | 北海道大学大学院農学研究科図書室 | | | 1 | | | | | | |
| FA001131 | 北海道大学農学部附属演習林資料室 | | | | | | | | | 1 |
| FA001153 | 北海道大学獣医学部図書室 | | | | | | 1 | | | |
| FA001197 | 北海道大学触媒化学研究センター図書室 | 1 | | | | | | | | |
| FA001222 | 北海道大学医療技術短期大学部図書室 | | 9 | 1 | | | | | | |
| FA002564 | 三重大学附属図書館 | | | 7 | | 4 | | | | |
| FA003636 | 宮崎医科大学附属図書館 | | | | | | | | | 1 |
| FA003625 | 宮崎大学附属図書館 | | | | | | 3 | | | 3 |
| FA001299 | 室蘭工業大学附属図書館 | | | | 12 | 1 | 1 | | | 5 |
| FA001572 | 山形大学附属図書館工学部分館 | | | | 1 | 2 | | | | |
| FA001550 | 山形大学附属図書館 | | | | | | 1 | 2 | | 1 |
| FA003283 | 山口大学附属図書館 | | 3 | | | | 25 | | 3 | 6 |
| FA003294 | 山口大学附属図書館医学部分館 | | | | 2 | | | | | |
| FA003308 | 山口大学附属図書館工学部分館 | | | | | | 4 | | | |
| FA002258 | 山梨大学附属図書館 | | | | | 1 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| FA003691 | 琉球大学附属図書館 | | 9 | 1 | 3 | | 3 | 6 | | |
| FA002065 | 横浜国立大学附属図書館 | | | 8 | | | 4 | 1 | | |
| FA003964 | 大阪市立大学学術情報総合センター | | 1 | | | 8 | 4 | 3 | | 1 |
| FA004005 | 大阪府立大学社会福祉学部図書室 | | | | | | 1 | | | |
| FA004016 | 大阪府立大学経済学部図書室 | | | | | 1 | | | | |
| FA004038 | 大阪府立大学農学部図書室 | | | | | 1 | 2 | | | |

NII 総合目録データベースにおける著者名典拠ファイルの形成過程

| 参加館ID | 参加館名称 | 1986年 | 1988年 | 1990年 | 1992年 | 1994年 | 1996年 | 1998年 | 2000年 | 2002年 |
|----------|--------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| FA003942 | 京都府立医科大学附属図書館 | | | | | 1 | 1 | | | |
| FA004209 | 熊本県立大学附属図書館 | | | | | | | 1 | | |
| FA004049 | 神戸市外国語大学図書館 | | | | | 3 | | 7 | 3 | |
| FA016875 | 神戸市看護大学図書館 | | | | | | | | | 1 |
| FA019625 | 公立はこだて未来大学情報ライブラリー | | | | | | | | | 5 |
| FA003716 | 札幌医科大学附属図書館 | | | | | | | | | 3 |
| FA012295 | 静岡県立大学附属図書館 | | | | | | 1 | | | |
| FA004093 | 奈良県立医科大学附属図書館 | | | | 3 | 1 | | | | |
| FA018768 | 新潟県立看護大学図書館 | | | | | | | | | 1 |
| FA003727 | 福島県立医科大学附属図書館 | | | | | | | 2 | | |
| FA003771 | 横浜市立大学学術情報センター | | | | | 16 | 1 | 1 | | 1 |
| FA003873 | 名古屋市立大学総合情報センター山の畑分館 | | | | | | 2 | | 2 | |
| FA003895 | 名古屋市立大学総合情報センター川澄分館 | | | | | | | | 1 | |
| | | | | | | | | | | |
| FA012207 | 国際日本文化研究センター | | | | 4 | 13 | 11 | 19 | 28 | 2 |
| FA009563 | 国立科学博物館 | | | | | | | | 1 | |
| FA009541 | 国立教育政策研究所教育研究情報センター教育図書館 | | | | | | 2 | 1 | | |
| FA009199 | 国立極地研究所図書室 | | | | | | | | | 2 |
| FA012943 | 国立情報学研究所 | | | 55 | 2 | 11 | | 1 | | 1 |
| FA000015 | 国立情報学研究所コンテンツ課 | 1 | | | | 2 | 6 | | | |
| FA009508 | 国立女性教育会館女性教育情報センター | | | | 1 | 2 | 1 | | | |
| FA012193 | 国立天文台 | | | 6 | 1 | | | | | |
| FA009596 | 国立保健医療科学院研究情報センター | | | | | | | 1 | | 4 |
| FA009224 | 国立民族学博物館情報管理施設 | | | | | | 4 | | | 1 |
| FA009235 | 国立歴史民俗博物館資料課図書係 | | | 1 | | | | | | |
| FA009494 | 統計数理研究所図書室 | | | | | 1 | | | | |
| FA016365 | 東京国立近代美術館 | | | | | | | | | 6 |
| FA011033 | 日本貿易振興会アジア経済研究所図書館 | | | | | | 1 | 3 | 8 | 3 |
| FA009381 | 放射線医学総合研究所図書室 | | | | | | | | 1 | |
| FA009166 | 放送大学附属図書館 | | | | | | 3 | | | |
| FA011168 | 理化学研究所図書館 | | | | | | | | 1 | |
| FA011135 | 日本労働研究機構資料センター | | | | | | | | 3 | |
| | | | | | | | | | | |
| FA007262 | 愛知淑徳大学図書館 | | 1 | | 1 | | 2 | 10 | 13 | |
| FA007182 | 愛知大学豊橋図書館 | | | 5 | | 4 | | 1 | | |
| FA012262 | 愛知大学名古屋図書館 | | | | | | | 75 | | |
| FA015715 | 愛知みずほ大学附属図書館 | | | | | | | | 1 | |
| FA013888 | 青山学院女子短期大学図書館 | | | | | | 4 | 1 | | |
| FA004923 | 青山学院大学図書館 | | | | 3 | | 1 | 1 | | 3 |
| FA004220 | 旭川大学図書館 | | | | | | 1 | | | |
| FA006827 | 麻布大学附属学術情報センター | | | | | | | 2 | | |
| FA014585 | 跡見学園女子大学短期大学部図書館 | | | | | | 1 | 1 | 4 | |
| FA012670 | 石巻専修大学図書館 | | | | | 13 | | | 1 | |
| FA013913 | 江戸川大学・短期大学総合情報図書館 | | | | | 1 | | | | |
| FA007830 | 大阪芸術大学図書館 | | | | | | | 8 | 4 | |
| FA007841 | 大阪工業大学図書館 | | | | | 11 | 15 | 6 | 18 | 4 |
| FA017346 | 大阪信愛女学院短期大学図書館 | | | | | | | | 8 | 13 |
| FA008210 | 大手前大学西宮図書館 | | | | | | | 2 | 2 | 3 |
| FA009144 | 沖縄大学図書館 | | | | | | | | 2 | 1 |
| FA005019 | 学習院大学図書館 | | | 1 | | | 2 | | 1 | |
| FA014676 | 鹿児島純心女子短期大学図書館 | | | | | | 1 | | | |
| FA006838 | 神奈川工科大学附属図書館 | | | 5 | | | | | | |
| FA012772 | 金沢学院大学図書館 | | | | | | | | | 4 |
| FA013061 | 川崎医療福祉大学附属図書館 | | | | | | | | 1 | 3 |
| FA008006 | 関西外国語大学図書館 | | | | | | 2 | 2 | 17 | |
| FA008221 | 関西学院大学図書館 | | | 2 | 1 | 1 | 2 | 2 | 6 | |
| FA005063 | 北里大学白金図書館 | | | | | | | | | 1 |
| FA006831 | 九州ルーテル学院大学図書館 | | | | | | | 4 | 1 | |
| FA007513 | 京都外国語大学附属図書館 | | | | | | 1 | 2 | 2 | 4 |
| FA012218 | 京都産業大学図書館 | | | 4 | 16 | 5 | | 1 | 1 | 9 |
| FA007615 | 京都精華大学図書・情報館 | | | | 2 | | | | | |
| FA016547 | 京都文教大学図書館 | | | | | | | 2 | | 7 |

大学図書館研究 LXXIII (2005.3)

| 参加館ID | 参加館名称 | 1986年 | 1988年 | 1990年 | 1992年 | 1994年 | 1996年 | 1998年 | 2000年 | 2002年 |
|----------|-----------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| FA005154 | 杏林大学医学図書館 | | | | | 1 | | 1 | | 3 |
| FA008028 | 近畿大学中央図書館 | | | | | | 3 | 2 | | |
| FA005198 | 慶應義塾大学三田メディアセンター | 2 | 15 | 39 | 56 | 28 | | | | |
| FA005212 | 慶應義塾大学医学メディアセンター | | | 11 | 3 | 6 | 10 | 16 | | |
| FA008276 | 神戸学院大学附属図書館 | | | | | 1 | 9 | 25 | 4 | 14 |
| FA008345 | 神戸松蔭女子学院大学・神戸松蔭女子学院短期大学図書館 | | | | | 9 | 2 | | 15 | 7 |
| FA005289 | 駒澤大学図書館 | | | | | 2 | 4 | 1 | | |
| FA004231 | 札幌大学図書館 | | | | 12 | 16 | 20 | 28 | 42 | 5 |
| FA005303 | 実践女子大学図書館 | | | | | | 1 | | | 1 |
| FA015125 | 実践女子短期大学図書館 | | | | | | 7 | 1 | | |
| FA005314 | 芝浦工業大学芝浦図書館 | | | | | | | | 4 | |
| FA017084 | 十文字学園女子大学情報・資料センター | | | | | | | | 1 | |
| FA004854 | 淑徳大学附属図書館 | | | | | | | 2 | | |
| FA014304 | 城西国際大学附属図書館 | | | | | | | | 1 | |
| FA005358 | 上智大学図書館 | | | 33 | 9 | 18 | 10 | 7 | 14 | 8 |
| FA005380 | 上智大学図書館市谷分室 | | | 26 | 1 | | 1 | | | |
| FA005404 | 昭和女子大学図書館 | | | | | | | | | 6 |
| FA005438 | 女子美術大学相模原図書館 | | | | | | | 1 | | 1 |
| FA013866 | 鈴鹿医療科学大学附属図書館 | | | | | 11 | | | 1 | |
| FA005471 | 成蹊大学図書館 | | 9 | | 1 | | | | | |
| FA005518 | 清泉女子大学附属図書館 | | | | | 4 | 2 | 4 | 1 | 17 |
| FA008855 | 西南学院大学図書館 | | | | | | | | 5 | 5 |
| FA005529 | 聖路加看護大学図書館 | | | | | | | | | 1 |
| FA008083 | 摂南大学図書館 | | | 8 | 17 | 2 | 11 | 19 | 15 | 5 |
| FA005573 | 大正大学附属図書館 | | | | | | | 3 | | |
| FA005609 | 大東文化大学60周年記念図書館 | | | | | | 3 | | | |
| FA012681 | 高岡法科大学図書館 | | | | | 1 | | | | |
| FA007342 | 中部大学附属三浦記念図書館 | | | 1 | 3 | | | 1 | | |
| FA006962 | 鶴見大学図書館 | | | | 10 | 4 | 1 | 6 | 2 | 3 |
| FA013822 | 帝京科学大学附属図書館 | | | | | 1 | 1 | | | |
| FA012331 | 帝京大学理工学部図書館 | | | | | | 12 | | | |
| FA008130 | 帝塚山学院大学図書館狭山館 | | | | | | 5 | | | |
| FA008447 | 帝塚山大学図書館本館(東生駒キャンパス図書館) | | | | | 18 | | | 5 | 3 |
| FA005802 | 東海大学付属図書館 | | | 7 | 3 | 2 | 13 | 2 | 2 | |
| FA005835 | 東海大学付属図書館伊勢原図書館 | | | | | 7 | 8 | | | |
| FA005959 | 東京家政学院大学附属図書館 | | | | | | 2 | | | |
| FA005970 | 東京経済大学図書館 | | | | | | | | | 1 |
| FA006973 | 東京工芸大学中央図書館 | | | | | | | | | 2 |
| FA005992 | 東京慈恵会医科大学医学情報センター図書館 | | | | 1 | | | | | |
| FA006044 | 東京神学大学図書館 | | | | | | 8 | 25 | 2 | |
| FA006066 | 東京電機大学総合メディアセンター神田サテライトセンター | | | | | | 1 | 1 | | |
| FA006077 | 東京電機大学総合メディアセンター鳩山サテライトセンター | | | | | | | 3 | | |
| FA006088 | 東京農業大学図書館 | | | | | | 1 | | | |
| FA012353 | 東京農業大学生物産業学部教育研究情報センター | | | | | | 2 | 3 | | |
| FA006168 | 桐朋学園大学音楽学部附属図書館 | | | | | | | 52 | 36 | 63 |
| FA016809 | 豊橋創造大学附属図書館 | | | | | | | 1 | | |
| FA007400 | 名古屋商科大学中央情報センター | | | | | | | | | 10 |
| FA013979 | 名古屋大学附属図書館医学部分館保健学情報資料室 | | | | | 6 | | | | |
| FA007433 | 南山大学名古屋図書館 | | 2 | | | | | | | |
| FA006452 | 日本歯科大学歯学部図書館 | | | | | | 2 | | | |
| FA006485 | 日本獣医畜産大学附属図書館 | | | | | | | | 5 | |
| FA006237 | 日本大学文理学部図書館 | | | | | | | 2 | | |
| FA006306 | 日本大学医学部図書館 | | | | | 1 | | | | |
| FA007444 | 日本福祉大学付属図書館 | | | | | | | 3 | 14 | 4 |
| FA01258X | 姫路獨協大学附属図書館 | | | | | 1 | | | | |
| FA008607 | 広島工業大学附属図書館 | | | | | 7 | | 2 | | |
| FA008618 | 広島修道大学図書館 | | | | 8 | 2 | | | | |
| FA006984 | フェリス学院大学附属図書館 | | | | | 1 | 1 | | | |
| FA008913 | 福岡大学図書館 | | | 4 | 2 | 3 | | | | |
| FA008924 | 福岡大学図書館医学部分館 | | | 12 | | | | | 1 | |
| FA008662 | 福山大学附属図書館 | | | | | | | 1 | | |
| FA004286 | 藤女子大学図書館 | | | | | 1 | | 1 | | |

NII 総合目録データベースにおける著者名典拠ファイルの形成過程

| 参加館ID | 参加館名称 | 1986年 | 1988年 | 1990年 | 1992年 | 1994年 | 1996年 | 1998年 | 2000年 | 2002年 |
|----------|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| FA004821 | 文教大学越谷図書館 | | | | | | | | 6 | |
| FA006565 | 法政大学図書館 | | | | 6 | 1 | | | | |
| FA01908X | 北陸学院短期大学ヘッセル記念図書館 | | | | | | | | | 12 |
| FA017743 | 宮崎産業経営大学附属図書館都城図書館 | | | | | | | | | 1 |
| FA008403 | 武庫川女子大学附属図書館 | | | | | | | | | 1 |
| FA006634 | 武蔵工業大学図書館 | | | | | | | 1 | | |
| FA006623 | 武蔵大学図書館研究情報センター | | | | 2 | 1 | 1 | 2 | | 4 |
| FA006656 | 武蔵野大学図書館 | | | | | | 1 | | | |
| FA006714 | 明治学院大学図書館 | | | | 1 | | | | | |
| FA006678 | 明治大学図書館 | | 16 | 46 | 25 | 25 | 10 | 32 | 60 | 90 |
| FA006747 | 明星大学日野校舎図書館 | | | | | | | | | 2 |
| FA006995 | 横浜商科大学図書館 | | | | | | | 3 | 1 | 2 |
| FA004355 | 酪農学園大学附属図書館 | | | 3 | | 8 | | 3 | | 8 |
| FA006758 | 立教大学図書館 | | | | | | 43 | 3 | 5 | |
| FA006769 | 立正大学大崎図書館 | | | | | | | 5 | | |
| FA007739 | 立命館大学図書館 | | | 60 | 2 | 12 | 14 | 17 | 11 | 1 |
| FA012455 | 龍谷大学学術情報センター瀬田図書館 | | | | | 2 | 5 | | | |
| FA006543 | ルーテル学院大学図書館 | | | | | | 1 | | | |
| FA004901 | 麗澤大学図書館 | | | | | | 16 | 1 | | 1 |
| FA006929 | 昭和音楽大学附属図書館 | | | | | | | 1 | | |
| FA007681 | 同志社女子大学図書・情報センター | | | | | | | 5 | | |
| FA007670 | 同志社大学総合情報センター | | | 15 | 113 | 44 | 27 | 2 | | 1 |
| FA006521 | 日本体育大学図書館 | | | | | | | 10 | 28 | |
| FA008141 | 梅花女子大学・梅花短期大学図書館 | | | | 14 | 1 | | 1 | | |
| FA012954 | 英国図書館東洋書籍部 | | | | | | 1 | | | |
| FA012965 | オックスフォード大学ボドレイアン図書館 | | | | 1 | 13 | 10 | 1 | 3 | |
| FA015985 | 群馬工業高等専門学校図書館 | | | | | | | | 2 | |
| FA015180 | 神戸市立中央図書館 | | | | | | | | | 24 |
| FA015908 | 国際交流基金図書館 | | | | | | | | 4 | |
| FA020249 | 国際交流基金ケルン日本文化会館 | | | | | | | | | 4 |
| FA013028 | 国際文化会館図書室 | | | | | | | | 3 | |
| FA012987 | シェフィールド大学日本研究センター | | | | | | | | 8 | |
| FA013946 | 職業能力開発総合大学校図書館 | | | | | | | 1 | | |
| FA016183 | チューリヒ大学東洋学部日本学科図書館 | | | | | | | | | 1 |
| FA014530 | ドイツ-日本研究所図書室 | | | | | | | | | 3 |
| FA012091 | 東京大学海洋研究所図書室 | | | | | | | | | 1 |
| FA010959 | 奈良県立奈良図書館 | | | | | | 22 | 16 | | 2 |
| FA011725 | 立正校成会付属校成図書館 | | | | | | | | | 3 |
| | 不明 | 4 | | | | | | | | |
| | サンプル総数 | 631 | 870 | 891 | 885 | 893 | 931 | 925 | 955 | 976 |

※参加館名称は、一部を除き2003年9月時点でのNII登録情報に拠った

規レコードの作成をやめてしまった場合がいくつも見られる。

(8) 芸術系大学が多量の典拠レコードを作成している例がある。これは音楽資料の目録の特性により典拠レコード作成の必要度が高いこと、および、音楽資料や画集、展示会図録などの芸術系資料について同種資料を所蔵する館が少数であることによると思われる。

(9) 表では典拠の種類別を示さなかったが、中国名典拠レコードの作成館については特に変動が著しい。近年の部分を例示すれば、1996年のサンプル全25件中、麗澤大16件、京大工学部2件、金沢大附属図書館2件。1998年では全79件中、75件が愛知

大名古屋図書館、2000年は20件中筑波大中央図書館9件、明大6件、日文研3件、2002年は全36件中、25件が京大附属図書館、3件が名大情報言語合同、明治大と神戸学院大が2件ずつという内訳であり、全く入れ替わっていて、中国名に関しては典拠レコードの安定した供給者が存在しないことを示している。

なお、上記(1)および(2)において、著者名典拠レコードを生産する参加館の減少について述べたが、これをより詳しく知るために、1998年、2000年、2002年について、5月の連休後の2週間に作成された著者名典拠レコード全件を作成館毎に集計した表を作成してみた(表6)。表5はサンプル数を

表6 著者名典拠レコード作成頻度分布

| 作成件数 | 1～5 | 6～10 | 11～20 | 21～30 | 31～40 | 41～50 | 51以上 | 計 |
|----------------|-----|------|-------|-------|-------|-------|------|-----|
| 1998年5月14日～27日 | 162 | 27 | 16 | 13 | 7 | 4 | 17 | 246 |
| 2000年5月15日～28日 | 118 | 20 | 24 | 8 | 1 | 6 | 11 | 188 |
| 2002年5月15日～28日 | 95 | 26 | 22 | 10 | 2 | 0 | 5 | 160 |

各月の2週間の間に作成された著者名典拠レコードについて、その作成館FA番号毎に集計した。

揃えたため、時間的な面では一定しないが、表6により、一定期間における作成頻度分布を知ることができる。

これによると、2週間の作成件数1～5件の館のグループ、および同じ期間に51件以上を作成する館のグループは、ともに一貫して減少している。典拠レコードの作成を行った館の総数も、1998年の246館から2002年の160館へと減少し続けており、著者名典拠レコード作成については、頂上と裾野の両方がともに薄くなりつつあることを読み取ることができる。

4. 総合目録のエコノミー

かつて、佐々木光子は、1995年刊行ロシア語図書書誌レコード作成館を同年末に調査した結果上位6館で6分の5を占めることを指摘し、「総合目録データベースを形成している基盤は意外と心もとないものだと感じる¹⁰⁾」と述べたことがある。今回の調査の結果は、典拠レコードの作成が少数の館によるところが大きく、一方で、全く、あるいはほとんど典拠レコードを作成することのないマジョリティーが存在することを示しており、佐々木の発言を別の面から裏付けるもののように思われる。また、それぞれの参加館の作成した典拠レコードの数がしばしば年毎に大きく変動するのは、参加館がそれぞれの目録ポリシーとして著者名典拠作成を行うのではなく、たまたま当該目録部署の業務の状況として可能な場合、あるいはそれに対して熱意のある職員がいる場合に行うという、組織的ではない形で典拠レコードが蓄積されていることを示唆するであろう。ただし、逆に「著者名典拠レコードを作成しない」「リンクしない」という選択は、往々にして参加館のポリシーとして組織的に行われている可能性がある¹¹⁾。

以上のことからすれば、典拠ファイルの充実を目指すには、典拠レコードの作成およびリンク形成に積極的に関与する参加館を増やす方策を採る必要があるのだが、と同時に次の点にも注意を払う必要があるだろう。すなわち、典拠レコードの作成が現在より盛んになされていた1990年代前半におい

ては、重複レコードの発生する率が現在より高かったのであって、今後同じような状態に復帰した場合、レコードの調整により大きな労力を要することになるであろう点である。典拠レコードの作成ペースが落ち続け、リンク形成率が低下を続ける現状は決して望ましいものではないが、現在の状況は、いわば各参加館の総合目録システムへのある種の「適応」によってもたらされたものであり、その限りでは一種の合理性を備えていると言える。しかしながら、典拠レコードが十分に作成されずリンク形成率が低下するということは、ある参加館がリンクを形成するポリシーを採用した場合の負担が増大することによってますますリンク形成率が低下するという、負の循環が将来進行する可能性が大きい。

著者名典拠レコードの作成およびその著者標目とのリンクは、NII総合目録においてはあくまでオプションの部分であり、リンク形成率の低下を書誌レコード品質低下と直結させて論じる必要はないと考える。しかし、著者名典拠ファイルで観察された上記のことは、図書ファイルや雑誌ファイルの状況を考える上で示唆を与える点がある。

著者名典拠ファイルとは違って、図書書誌ファイルおよび雑誌書誌ファイルに関しては、参加館が未登録資料の目録作業を行う場合、総合目録に書誌・所蔵の登録を行うのが一応の前提とされている。つまり、ここは参加館の任意ではない部分であり、著者名典拠ファイルと違って、全参加館がここにはプレーヤーとして存在している筈である¹²⁾。

ということは、裏を返せば、図書ファイルの書誌レコードに関して、著者名典拠以上にプレーヤーが多いことから、重複発生率は著者名典拠ファイルより高い可能性がある。

実際、図書ファイルについて歩留まりを調べると、1997年4月に作成されたNCIDがBA300で始まる書誌レコードの歩留まりは85.2%、2002年4月作成のNCIDがBA563で始まる書誌レコードの歩留まりは94.5%であって¹³⁾、同時期作成の著者名典拠レコードの歩留まりが92.3%および97.3%であるのと比べると、重複レコード発生率は約2倍と見積もられる。

このように、多数の参加館による共同分担目録においては、重複レコードの発生は例外的なことではなく、ともすれば相当多数の重複レコードが生じてしまうものという認識の下で対策を講ずる必要があると思われる。これはOCLCをはじめとする他の書誌ユーティリティーにおいてもかつてしばしばみられたことであるが、NIIの総合目録に関しては、最近までそのことが十分に認識されてこなかったように思われる¹⁴⁾。

従来、NIIの総合目録においては、

□参加館が増大すればするほど、登録された書誌レコード・所蔵レコードは増加し、またそれによって、参加館の負担は軽減され、このことがさらに参加館や登録レコードの数を増加させる。

といういわば正の循環の存在が認められてきた。これを仮に「総合目録エコノミーの第一原理」と呼ぶとするならば、上述の事態はこの裏側に、

□参加館が増大すればするほど、重複レコードの作成などによるレコード調整業務量が増大し、システムの運用コストを上昇させる。

という別個のエコノミーが現れることが示唆される。これをここでは仮に「総合目録エコノミーの第二原理」と呼ぶことにしよう。

この「第二原理」の背景には、おそらく「第一原理」自体に内在する要因がある。すなわち、多数の書誌レコードが登録されることで、各参加館にとっては目録作業がそれだけ軽減されるわけだが、そのため、個々の参加館にとっては、自館でオリジナルのレコードを作成する必要が減ることから、目録作業体制の弱体化を招いている可能性がある。とりわけ、小規模な図書館、あるいはある程度の規模があっても大手出版社の刊行する日本語もしくは英語の出版物をもっぱら収集する図書館においては、自館で独自の書誌レコードを作成する必要が少ない。そのため、総合目録に登録できる水準の目録作成技量を維持できなくなっている参加館が相当数存在する可能性がある。

また、上記「第二原理」が今のところそれほど顕在化してこないのは、一部の参加館が書誌レコードや所蔵レコードの登録を回避していることによる可能性がある。しかし、こうした業務を果たさず他参加館の作成したレコードを一方向的に利用する参加館が存在するとした場合、これは総合目録存立の基盤にかかわる問題を投げかけるであろう。

NIIの総合目録システムは、参加館の増加、登録された書誌レコードや所蔵レコードの増加から順調に発展しているように語られてきた。しかし、運用開始から20年が経つ今日、その優れた成果を認識

すると同時に、その運営上の問題点に対して、制度の再設計も含めた適切な手当が行えるよう準備すべき時が来ているように思われる。

注

- 1) この用語については、後出注7)を参照。
- 2) NIIは、国立情報学研究所(National Institute for Informatics)の略称である。
- 3) Robert H. Burgerはその著Authority work(1985)において典拠ファイルと書誌ファイルとのレコード件数の数量的関係に言及している。邦訳『データベースの典拠作業』東京、丸善、1987、p.66-71。この本には、OCLC、ニューヨーク公共図書館等いくつかの書誌ユーティリティーおよび大図書館の目録システムにおける名前典拠レコードと書誌レコードの比率が挙げられている。ただし、それぞれのシステムにおけるファイル構成等が相違するため、単純に比較することはできない。書誌レコードと典拠レコードがリンクされるタイプのシステムを持つなど、NIIと比較的条件に近いと思われるWLNのケースでは、当時の名前典拠と件名典拠を合わせた典拠レコード数は280万件、書誌レコード数は320万件で比率はほぼ1:1とのことである。件名典拠と名前典拠の件数比率は、経験的に名前典拠の方がはるかに多数であることが知られているので、名前典拠と書誌レコードとの比率もほぼ同じと見て差し支えないであろう。同書p.89。なお、このことは、大規模な学術図書館が参加する書誌ユーティリティーにおいて、著者名典拠ファイルとのリンクを義務化した場合、書誌レコード件数が300万近い規模に達した段階においても、書誌レコード件数と同数程度の典拠レコードを必要とすることを示唆する。
- 4) TTLLフィールドに記録されたタイトルの言語によって区分した。なお、サンプルの抽出は、書誌レコードに振られたID番号による前方一致検索による。ただし、1992年の時点においては、和図書ファイルと洋図書ファイルが別個に存在した。それぞれの作成ペースが異なるため、全体の傾向を知るためには、その点を補正する必要がある。そのため合計欄には、各項目の単純な合計でなく、補正した数値を記した。表2下の注を参照されたい。
- 5) 1987年11月にALフィールドリンクがオプション化された直後のリンク率は約70%だったと宮沢らは報告する。宮沢彰、郷端清人「学術情報センターの著者名典拠に関する若干の統計」『学術情報システムにおける総合目録の機能と運用に関する研究』

- (昭和61-62年度文部省科学研究費補助金研究成果報告書, 研究代表者 内藤衛亮) 東京, 1988, p.84. 筆者が昨年調査したところでは, このころ作成された書誌レコードのALフィールドのリンク率は90%を超える。つまり, 作成後15年余が経過するうちに20%以上向上したのである。
- 6) 表2で示したデータについて, 5年間のリンク率向上の程度を, 2002年4月と2003年9月の間の2倍と仮定して統計的に有意なものか検定したところ, 合計部分については, 1992-1997年および1997-2002年の両方について有意水準1%でリンク率低下仮説が受容された。言語別では, 和資料と英語資料においては1992-1997年の間について, 「その他の資料」については1992-1997年と1997-2002年の両方について有意水準1%でリンク率低下仮説が受容された。
- 7) 「歩留まり」は, 工学系の文書において多く使用される用語であり, 文部省の学術用語集等にも収録されている。語義としては, 冶金等においては原料から精製された生産物の割合を示し, 生産管理工学においては, 生産物のうち不良品としてはねられたものを除いた, 実際に製造基準を満たした製品の割合を示す。本論文においてこの語を使用することについては, 工場での品質管理と総合目録における品質管理との違いに注目して疑問を持たれる向きもあるかもしれないが, 筆者としては, 目録の品質管理問題には工学的発想が必要であり, むしろ共通点に注目する意味から, この語を使用すべきと考える。
- 8) 宮沢彰『図書館ネットワーク: 書誌ユーティリティの世界』(情報学シリーズ; 5) 東京, 丸善, 2002, p.83.
- 9) 季節変動による差を避けるため毎年5月10日-15日前後に作成された典拠レコードをサンプルとした。
- 10) 佐々木光子“大学図書館の現場から: NACSIS-CATカタログング・レポート”『情報の科学と技術』46(3)(1996) p.130
- 11) 宮沢は, 1987年に行われた書誌階層の2階層化と典拠リンクのオプション化について, 「私見では2階層化やオプション化を行わなくても大差のない時期に離陸出来たらうと(今から見れば)思う」(前掲書p.92.)と述べているが, 各参加館が扱う資料のばらつきを考慮しておらず, 十分に説得的とは思われない。所蔵館が少数にとどまり, 典拠作業も含めた目録作業ができる目録者が多くない資料の場合, 参加館としてその部分は総合目録登録から除外する, という判断があり得る。これが累積した場合, そうした資料群については「離陸」できないということになるであろう。この問題は, どういう目標で, どういう範囲の総合目録を形成するかということを明確にした上で議論すべきものと筆者は考える。
- 12) 実際にそうであるかは, 疑問の余地がある。筆者は研修会の席等で, 一部の参加館の目録担当者から, たびたび「当館では書誌レコードの修正はしない」とか「所蔵を登録しない」という話を耳にすることがあるし, 実際, NACSIS-IRによって所蔵レコードの件数をカウントすると, NIIの参加館になってからの年月およびその館の蔵書量に比して所蔵登録件数が過小に思われる参加館を見ることがあるからである。しかし, この件は本稿では取り扱わず, 今後検証を進めることとしたい。ここではとりあえず, 書誌レコードは著者名典拠レコードと違って, 全ての参加館が作成するはずのものであり, 実際に著者名典拠レコードよりプレーヤーの数が相当多い, ということで理解していただきたい。
- 13) いずれも2003年11月筆者調べ。
- 14) 2003年秋の参加館向け説明会において, NIIは重複レコード発生についての資料を配布し, 担当者の注意を促した。

< 2005.1.11 受理 とない ゆづる 北海道大学スラブ研究センター講師 >

TONAI, Yuzuru

What does the accumulation process of name authority records in the NII Union Catalog suggest to us?

Abstract: The number of name authority file records being contributed to the NII union catalog is decreasing, as is the rate of name fields in bibliographic records being linked to name authority records. On one hand we can see an increase in the yield rate of name authority records, but it is possible that it is related to the decreasing number of libraries contributing records. We know that an individual institution's cataloging burden decreases as more libraries contribute records to the NII union catalog, and it helps to attract more libraries to the union catalog. But our observation suggests that, on the other hand, it leads deterioration of cataloging knowledge among participating libraries, and there will be a decrease in the yield rate and an increase in the costs of maintaining the union catalog system. The author calls for an improved operational system that will be able to break the negative cycle.

Keywords: NACSIS-CAT / Bibliographic Utilities / National Institute for Informatics (NII) / Shared Cataloging Responsibilities / Name Authority Files